



## イベント全体概要報告(8/7-8)

### ■開催概要

- 大会名称: FUN & RUN! 2-Wheels Full Course Special (MFJ承認競技会)
- 開催場所: 鈴鹿サーキット・国際レーシングコース／フルコース(5.821km)  
三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL:059-378-3405 FAX:059-378-3625
- 開催日: 2010年8月7日(土)、8日(日)
- 天候: 快晴／ドライ(7日、8日)
- 開催クラス: 総参加台数／221台

ROAD STAR CHALLENGER I .....	5台
ROAD STAR I .....	11台
ROAD STAR EXPERT I .....	13台
ROAD STAR II .....	8台
ROAD STAR EXPERT II .....	3台
ROAD STAR WARS I .....	27台
ROAD STAR WARS II .....	12台
X-Formula TWIN I / EXPERT .....	13台
NK1-Remix / EXPERT .....	5台
X-Formula SINGLE I・II・TWIN II / EXPERT .....	7台
FUN & RUN OPEN / EXPERT .....	30台
Mini-Moto STスプリント .....	40台
Mini-Moto SP .....	47台

★レースリザルトは、インターネットでご覧いただけます。

リザルトページ [http://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](http://www.suzukacircuit.jp/result_s/)

★レース写真は、バトルファクトリー様のHPでご購入いただけます。

バトルファクトリーHP <http://www.battle.co.jp/>





Organized by SUZUKA CIRCUIT [Course] SUZUKA CIRCUIT EASTERN COURSE  
**FUN&RUN! 2-Wheels 2010**  
in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

## 開催クラス紹介(8/7-8)

### ●クラス紹介

#### [ROAD STAR WARS I/II]

一般公道走行が認められている、いわゆる「ナンバー付」車両による、レース形式競技がこのROAD STAR WARSです。「I」と「II」は車両の大きさの違いであり、2ストローク251cc/4ストローク401cc以上の車両がROAD STAR WARS I、2ストローク100cc～250cc/4ストローク100cc～400ccまでの車両がROAD STAR WARS IIとなります。現在、FUN&RUNで最も人気のあるクラスの内の一つです。

#### [ROAD STAR(CHALLENGER/EXPERT) I/II]

ROAD STAR WARS同様、一般公道走行が認められるナンバー付車両による競技です。ROAD STAR WARSとは違い、こちらは全て「タイムアタック形式」の競技となります。また、ライダーのスキルにより、入門者にはCHALLENGERクラスから、上級者にはEXPERTクラスまで幅広く参加できるクラスとなっています。

#### [NK1-Remix/EXPERT]

ビッグネイキッドマシンによる大迫力が楽しめる「NK1-Remix」。レーサーレプリカマシンとはひと味違うモンスターマシンの姿を観る方も楽しんでいただけます。買取規定(350万円)あり。

#### [X-Formula TWIN I/EXPERT]

国内外の2気筒エンジン車両が対象のクラス。国内外からの多数のツインバイクが一堂に会するレースです。EXPERTクラスを新設し、参加者のレベルに合わせた参加が可能となりました。

#### [X-Formula SINGLE I・II・TWIN II/EXPERT]

鈴鹿オリジナルの「X-Formula」クラスのレギュレーションをベースに、「SINGLE I」は401cc以上の4st単気筒、「SINGLE II」は400cc以下の4st単気筒、「TWIN II」は400cc以下の4st2気筒エンジンの搭載車両。買取規定あり。

#### [FUN&RUN OPEN/EXPERT]

旧参拾萬OPENクラス。排気量が100cc以上でホイールサイズが16インチ以上であれば、レーサー、プロダクション何でもOKのクラスです。2009年まであった買取規定が撤廃され、より様々な車両が参加できるようになりました。

#### [Mini-Moto ST スプリント]

今全国の大小様々なサーキットで大人気のミニバイククラス。ミニバイクのビッグイベント、鈴鹿Mini-Moto4時間耐久ロードレースの参加車両である、APE100、XR100Motard、KSR110、2010年より参加可能となったHOPPER125によるスプリントレースです。いずれもストッククラスであると同時に、ミニバイククラスということで幅広い参加者に支えられているクラスです。

#### [Mini-Moto SP]

「Mini-Moto SP」クラスは、Mini-Moto OPENクラスと同STクラスの間を埋めるカテゴリーとして、2010年より新設されたもの。OPENクラスは本格的すぎて難しい人やそろそろSTからステップアップしたいけど、いきなりOPENクラスは…なんて言う人のためのクラスです。

車両はSTと同じAPE100&XR100Motard/KSRの他に、NSF100も使用可能で、それぞれにクラス分けされて混走します。エンジンは基本的にノーマルですが、キャブレターやリアサスの変更など、STよりは改造範囲が若干広がっています。ライダーは1名または2名の登録ですが、ピットインも義務付けられるなど、90分とは言え、耐久レース気分はしっかり味わえるでしょう。



Organized by SUZUKA CIRCUIT [Course] SUZUKA CIRCUIT EASTERN COURSE  
**FUN&RUN! 2-Wheels2010**  
in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

夏真っ盛り、まだまだ暑いシーズンが続く!!

鈴鹿8耐が終わったとはいえ、オートバイ乗りやレース好きにとってはまだまだ暑いシーズンが続くこの時期。夏真っ盛りのこの時期に今シーズン3回目となるFUN & RUN! 2-Wheelsを開催した。

2010年シーズン中唯一フルコースを使って争われる今回は7日(土)、8日(日)の2DAYのイベントとし、様々なレースを開催。参戦者やその仲間の皆様はもちろんのこと、夏休み中ということもあり、多くの観客の皆様もこの暑いレースを楽しんだ。

まず7日(土)はナンバー付き車両によるタイムアタック競技である「ROAD STAR」各クラス、ナンバー付き車両によるレース形式競技である「ROAD STAR WARS」各クラスを中心に4つのイベントを開催。ビギナー向けの「ROAD STAR CHALLENGER」、中級者向けの「ROAD STAR」、エキスパート向けの「ROAD STAR EXPERT」の3カテゴリーの混走で開催したことにより、ビギナーがエキスパートの走行ラインを参考にすることが可能となり、ビギナーにとってはまたとないタイムアップの機会となったようだ。

明けて8日(日)は、「Mini-Moto OPEN」と今シーズンより開催している「NEO STANDARD」を除く全カテゴリーのレース競技に加え、「Mini-Moto SP」の90分間耐久レースも行った。

Mini-Moto STスプリントや今回が初開催となるMini-Moto SPは、秋に開催する鈴鹿Mini-Moto 4時間耐久ロードレースに向けたテスト参戦の場と捉えているライダーやチームも多い。実際今回も様々なパーツを持ち込み、各走行の合間にパーツ交換をしてマシンの仕上がり具合をチェックしているチームが多く見受けられた。

また、今シーズンより鈴鹿サーキットでもバイク用エアバッグシステムの装着を推奨しているが、今回もこれを装着して走行するライダーが多く見られた。バイクからライダーが飛ばされた約0.25秒後にエアバッグが開くこのシステムの装着に関しては、より安心してオートバイライディングを楽しんでいただくために、今後も装着を推奨していきたい。



Mini-Moto SP NSF100クラスの表彰式

(左から、2位:田中 歩 / 榊原浩二、優勝:西澤耕治、3位:笠井悠太 / 井手敏男)



Organized by SUZUKA CIRCUIT [Course] SUZUKA CIRCUIT EASTERN COURSE  
**FUN&RUN! 2-Wheels2010**  
in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

## レースレポート-1 (8/7-8)

### 8/7 ROAD STAR CHALLENGER I / ROAD STAR I / ROAD STAR EXPERT I

全車コースインの後、20分間のタイムアタックへと突入。まずはカワサキZX-10Rに乗る小出 宏がその時点のトップとなる2分34秒049をマーク。その直後にホンダ CBR1000RRに乗る前田成寛が2分24秒653へとトップタイムを塗り替える。さらにヤマハYZF-R1に乗る野々村誠司が2分23秒535をマーク。前田はセクター3まで野々村以上のタイムをマークしながらシケインでミス。野々村のタイムに届かない。ROAD STAR WARS IIにもエントリーしている野々村は早々にピットイン。野々村の2分23秒535がベストタイムとなった。



[ROAD STAR CHALLENGER I / ROAD STAR I / ROAD STAR EXPERT I] No.15 野々村 誠司

### 8/7 ROAD STAR II / ROAD STAR EXPERT II

まずは太田黒健二が2分40秒143のトップタイムをマーク。同じ週のセクター1でトップタイムをマークし、セクター2でも太田黒に次ぐ好タイムを記録した森 匡史が2番手タイムとなる。次の周でも太田黒はタイムを更新。女性ライダーの宮島由貴子は唯一200km/hオーバーの最高速をマークしながらその時点での5番手となるタイムをマークする。太田黒のタイムを1秒以上上回る2分36秒349を藪谷文彦がマークするが、藪谷は賞典外参加。太田黒を上回る2分36秒602をマークした大竹洋司の総合優勝が決まった。



[ROAD STAR II / ROAD STAR EXPERT II] No.59 大竹 洋司

### 8/7 ROAD STAR WARS I

ポールポジションスタートの前田成寛がホールショットをゲット。4番グリッドスタートの岡本倫治が2位に浮上する。岡本がコースアウトしたことにより2位となった野々村誠司を3番グリッドスタートの荻田佳宏がパスし掛ける。前田、野々村、荻田をパスした岡本、荻田のオーダーでオープニングラップを終了。その4台に若杉洋志を加えた5台がテールtoノーズのバトルを展開する。次第に岡本と荻田がトップ2に。岡本はファーステストラップをマークしながら単独トップとなる。岡本は後続に6秒353のアドバンテージを築いたが、賞典外参加のため、総合優勝は荻田に決定した。



[ROAD STAR WARS I] No.13 荻田 佳宏



Organized by SUZUKA CIRCUIT [Course] SUZUKA CIRCUIT EASTERN COURSE  
**FUN&RUN! 2-Wheels2010**  
in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

## レースレポート-2(8/7-8)

### 8/7 ROAD STAR WARS II

7番グリッドスタートの太田黒健二が良いスタートダッシュを披露。太田黒はダンロップコーナーあたりでトップの高村一明の背後に急接近すると、横に並び掛けるが、その後、太田黒は後続に飲み込まれる。高村、藪谷文彦、坂之下孝秀、太田黒のオーダーでオープニングラップを終了。坂之下はまず藪谷をパスするとセクターごとに良いタイムをマークし、ベースの上がらない高村の背後にも迫る。さらに5周目の西ストレートで高村のスリップに入るとシケインでこれをパス。坂之下、高村、藪谷のオーダーでチェッカーを受けた。



[ROAD STAR WARS II]No.1 坂之下 孝秀

### 8/8 Mini-Moto STスプリント

ポールポジションスタートの田中 歩が良いスタートを切るが、スリップストリームを使い合ってスピードを上げた2番手集団に飲み込まれる。10台近くのマシンがスリーワイド、フォーワイドの状態ですけインへと進入。川田修三、福井宏至、下井 満のオーダーでオープニングラップを終了する。その後も10台ほどのマシンがスリップストリームを使い合ってトップの座を争う。福井、川田、笹崎明仁のオーダーでファイナルラップへと突入。ヘアピンでトップに立った田中を川田がパス。シケイン立ち上がりで加速が良かった田中が優勝した。



[Mini-Moto STスプリント]No.15 田中 歩

### 8/8 X-Formula TWIN / EXPERT / NK1-Remix / EXPERT

4番グリッドスタートの藤城清太郎がロケットスタートを見せてホールショットをゲット。その後にポールポジションスタートの山田 清が続く。3番グリッドスタートの星山浩久と山田が藤城をパス。藤城の後方には5番グリッドスタートの片岡 誉が接近する。星山と山田は序盤からテールtoノーズのバトルを展開。藤城と片岡も接戦を繰り広げる。藤城、片岡の3番手グループに内田洋一と西村拓己が接近。内田が片岡をパスする。その間に星山は山田を引き離す。星山が山田に8秒610のアドバンテージを築いて優勝を飾った。



[X-Formula TWIN / EXPERT]No.69 星山 浩久



Organized by SUZUKA CIRCUIT [Course] SUZUKA CIRCUIT EASTERN COURSE  
**FUN&RUN! 2-Wheels2010**  
in SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

## 8/8 X-Formula SINGLE I-II・TWIN II / EXPERT

ホールショットを奪った2番グリッドスタートの加藤克也をポールポジションスタートの原田悠平がパス。原田、加藤、森 匡史のオーダーでオープニングラップを終了する。後続との予選タイム差が5秒以上もある原田はすぐに単独トップに。加藤も単独2位となる。加藤の後方では森と瀬戸登がテールtoノーズのバトルを展開。瀬戸は何度も森のインに入り掛ける。4周目の2輪専用シケインで瀬戸が森をパスして3位に。森は5周目のデグナーカーブでコースアウトするが、結局、原田、加藤、森のオーダーでチェッカーを受けた。



【X-Formula SINGLE I-II・TWIN II / EXPERT】No.86 原田 悠平

## 8/8 FUN & RUN OPEN / EXPERT

ポールポジションスタートの向山将弘がスタートで出遅れる。ホールショットをゲットしたのは2番グリッドスタートの西村一之だった。宮島伸也が7番グリッドスタートから順位を浮上。オープニングラップで岡本倫治がその宮島をもパスする。西村、鈴木康弘、岡本、宮島のオーダーでオープニングラップを終了するが、驚異的な追い上げを見せる向山が宮島と岡本をパス。向山はトップを走る西村との差をどんどん詰めていく。4周目の西ストレートで向山が西村をパス。向山が西村に8秒337ものアドバンテージを築いて優勝した。



【FUN & RUN OPEN / EXPERT】No.16 向山 将弘

## 8/8 Mini-Moto SP 90分耐久レース

スタンディングスタートによりレースがスタート。2番グリッドスタートの井上 学／的場浩晃組の井上がホールショットをゲット。その後にポールポジションスタートの西澤耕治が続く。田中 歩／榎原浩二組の田中、井上、佐野優人／佐野勝人組の佐野(優)、笠井悠太／井手敏男組の笠井、濱村京太郎／毛受元樹組の濱村、山口孝幸／上野昭弘組の山口のオーダーでオープニングラップを終了。トップ集団から笠井、濱村、田中の3台が抜け出す。オープニングラップを終えた段階でピットインした西澤は4台による4位グループの後方まで浮上。西澤はその4台に追いつくと一気に4台をパスする。

スタートから45分が経過した頃、笠井がピットイン。井手にライダーチェンジしてピットアウトする。これにより西澤が3位に浮上。濱村と田中もピットインしたことにより西澤がトップとなる。中盤以降、西澤は独走状態に。作戦勝ちが印象的な西澤の総合優勝だった。



【Mini-Moto SP 90分耐久レース】No.4 西澤 耕治